

令和2年度使用 小学校生活科（生活）調査資料

発行者	調査内容
東京書籍	<p>＜レイアウト（写真・ページ数・大きさ）について＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 写真が見やすく、葉っぱや木の実のイラストも本物に近く、鮮明である。 ○ ユニバーサルデザインを意識したレイアウトで、小单元名や本文が原則として定位に配置されているので、すべての児童が読みやすい。 <p>△ A4版で今回の検討候補の中で一番大きく重い。</p> <p>＜気づき・内容（授業のすすめ易さ・ふきだしの中の気づきの質）について＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「なにに見えるかな」で身の回りの物を生き物に例えるクイズを興味づけしてから生き物の単元に入るなど、児童の活動の広がりをもつ構成になっている。 ○ 本当の大きさずかん、ポケットずかんがわかりやすく、かつどうべんりてちょうが充実している。 ○ 子どもの視点に立ったふきだしコメントが多い。 ○ 「がっこうせいかつすたあと」に保護者向けのコメントがあり、スタートカリキュラムを扱っており、入学当初の学習が円滑に行える工夫がある。 <p>＜その他＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 目次にQRコードがついて、探検や遊びの約束などの短い動画がある。
大日本図書	<p>＜レイアウト（写真・ページ数・大きさ）について＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ A4版変形で、低学年でも扱いやすい大きさである。 ○ 表紙にでこぼこのデザインが施されており、児童が親しみを持ちやすい。 ○ 写真が多い。イラストより写真を多く掲載している。 ○ ふうせんの中に書かれている単元の見出しや児童の具体的な活動がわかりやすく、経験の浅い教員が教科書を使って教えやすい。 <p>＜気づき・内容（授業のすすめ易さ・ふきだしの中の気づきの質）について＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ページ右端のミニコラムに特色がある。上下共にせいかつことば、きらきらことば、低学年のうちに育てておきたいことばが載っていて児童が気づくヒントや、教師が教えるためのヒントになる。 ○ 四季折々の折り紙、夜の街のイラスト等、がくしゅうどうぐばこが充実している。 ○ 子どもの視点に立ったふきだしコメントである。 <p>＜その他＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 裏表紙にQRコードがついており「おもちゃの作り方動画」等が見られる。
学校図書	<p>＜レイアウト（写真・ページ数・大きさ）について＞</p> <ul style="list-style-type: none"> △ A4変形、他社と比べ大きい。 ○ 写真のレイアウト、配置がよい。子どもの表情が良い写真が多い。 △ イラストの質が、より本物や自然に近づくとよい。 <p>＜気づき・内容（授業のすすめ易さ・ふきだしの中の気づきの質）について＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「どきどき、いきいき、ふむふむ、にこにこ」の段階で、教科書のページに単元計画が示されているので、指導計画が立てやすい。 ○ ものしりノートが細かく、子どもにもわかりやすい。（上巻「なつ」だけない？） ○ 自分で書き込める場所があり、その時の学習が残せる。 ○ 教員のワークシートへの記入文例が豊富に載っており、コメントの視点も良い。投げかけのコメントも工夫されているので経験が浅い教員も着眼点が見える。 <p>＜その他＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ QRコードがついており「あそびのやり方」等が見られる。
教育出版	<p>＜レイアウト（写真・ページ数・大きさ）について＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ A4変形、軽く、こんがらがちの絵本のキャラクターが使われており、子どもたちが親しみやすい。 <p>＜気づき・内容（授業のすすめ易さ・ふきだしの中の気づきの質）について＞</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子供の疑問から学習をスタートしている。 ○ 学びのポケットが後付にあり、関連教科が示してあるところが特色。カリキュラムマネジメントへの配慮がされている。 ○ 自分で書き込める場所があり、その時の学習が残せる。 ○ 「まんぞくハシゴ」が各単元に設定され、自己評価ができる。 △ 子どもの気づき、発言のふきだしがもっとあるとよい。 ○ 「どんぐりクイズ」「やさいとくだものクイズ」等のクイズが児童の意欲を引き出す工夫が見える。 <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 上p 6 目次「学びリンク」のQRコードから、「あさがおのめ、はさみ、セロハンテープ、きりの使い方」などの情報資料が見られる。保護者向けのコメントがある。
光村図書	<p><レイアウト（写真・ページ数・大きさ）について></p> <ul style="list-style-type: none"> △ A4変形、やや厚めで、表紙が国語の教科書のように生活科か国語か子どもが間違えそう。 △ イラストが多く、絵画的なので実際の植物や自然に近づけた方がよい。 △ 写真がもっとあるとよい。 ○ 「ホップ・ステップ・ジャンプ」の3段階で構成され、学習の流れがつかめる。 <p><気づき・内容（授業のすすめ易さ・ふきだしの中の気づきの質）について></p> <ul style="list-style-type: none"> △ 子どもの気づき、発言のふきだしがもっとあるとよい。 △ カードへの教師のコメントが「春ですね」「夏ですね」「秋ですね」「冬ですね」というのは、経験の浅い教員にとっては参考にしにくいいため、工夫があるとよい。 △ 巻末の上巻・下巻8枚ずつのシールは、低学年に使わせるのは大変かも知れない。 <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 連動コンテンツQRコードから、資料が見られる。写真が多い。動画は少ない。
啓林館	<p><レイアウト（写真・ページ数・大きさ）について></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ A4変形。裏表紙に自分のマークが書ける。 ○ ページの右下に「めくり言葉」があり、次の活動の期待を持たせるとともに、教師も学習の流れがつかみやすい。 <p><気づき・内容（授業のすすめ易さ・ふきだしの中の気づきの質）について></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ スタートブックが、接続期プログラムを意識して作られておりよい。 ○ 「わくわくボックス」で児童の関心意欲を引き出す工夫がある。 ○ 上p 74、p 81 本当の大きさを示したページがよい。 ○ カリキュラムマネジメントを意識し、他教科との連携を図りやすい。また、単元末に「ひろがるきもち」が設けられ学習したことを生活に広げるヒントとなっている。 ○ 教師の手だてが教科書に記述されており、経験の浅い教員にも言葉かけや学びの深めさせ方がわかるように工夫されている。 <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ QRコードがたくさんページの記載され、多様な映像・音声資料が見られる。
日本文教出版	<p><レイアウト（写真・ページ数・大きさ）について></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ A4変形、薄く、軽い。 △ 表紙の写真は、親しみをもちにくいかもしれない。 <p><気づき・内容（授業のすすめ易さ・ふきだしの中の気づきの質）について></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 技能面を支える「ちえとわざのたからばこ」が特色。 ○ 山折りで、植物の変化が比べられる。 ○ p 135 点字が紹介されていて、実際に触れるのは新しい。 ○ 「ふりかえる つなげる」のページがあることで、活動したことを発展させたり継続させたりする意識を持たせやすい。 △ 子どもの気づき、発言のふきだしがもっとあるとよい。 <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ Dマークで、参考情報が見られる。QRコードではない。